

# U.S. Indicators

マクロ経済指標レポート

**米国 3月の非農業部門雇用者数は前月差 +18.5万人が見込まれる**  
**(3月25日までの週の新規失業保険申請件数)**

06年3月30日(木)

~ 足下の新規失業保険申請件数の基調は31万件程度 ~

(No. UI - 225)

第一生命経済研究所 経済調査部

桂畑 誠治(かつらはた せいじ)

(03-5221-5001 : [seiji@dlri.dai-ichi-life.co.jp](mailto:seiji@dlri.dai-ichi-life.co.jp))

## 30.2 万件と市場 予想を下回った

06年3月25日に終わった1週間の新規失業保険申請件数(季節調整済み)は、30.2万件と市場予想の30.5万件を下回り前週の31.2万件から1.0万件減少した。また、トレンドを示す4週間移動平均は、31.0万件と前週の31.2万件から低下した。堅調な成長ペースが持続するなか、引き続き安定的な雇用の拡大が持続していることが示された。

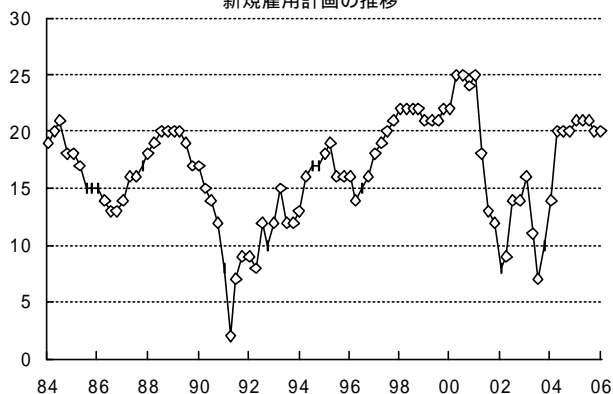
06年3月の雇用統計調査週である3月18日に終わった1週間の新規失業保険申請件数(季節調整済み)が3月の雇用統計調査週から水準が切り上がっていること等から、3月の非農業部門雇用者数は前月差+185千人程度に鈍化が予想される。

3月18日に終わった週の失業保険受給者数は248.3万人と前週から増加したものの、01年2月以来の水準で推移している。また、3月18日に終わった週の失業保険受給者比率が1.9%と2月の1.9%と変わっていないことから、3月の失業率も4.8%前後となる可能性が高い。

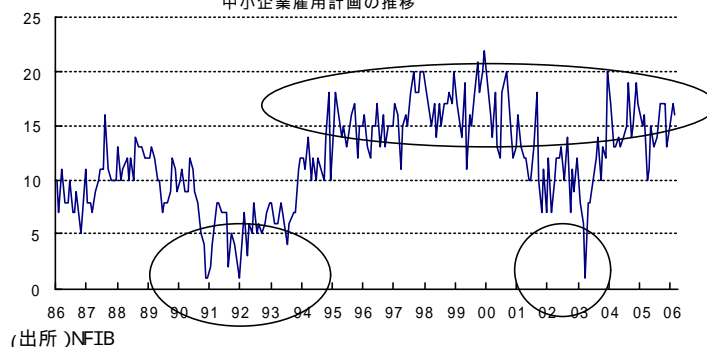
## 現在の雇用拡大ベ ースが持続

雇用を取巻く環境をみると、国際競争の激化や投入コストの上昇が続く中、一部の企業はコスト削減のため、レイオフ、採用抑制を続けると予想される。その一方で、雇用に先行する景気が2003年4~6月期から2006年1~3月期まで平均して潜在成長率を上回るペースで拡大しているとみられること、2006年1~3月期の新規雇用計画調査や経営者団体の景況調査における雇用計画などでは採用拡大が示唆されていることから、多くの企業で採用意欲が強まっていると判断される。さらに、雇用の大部分を占める中小企業の景況感が2月に改善し、雇用計画は高い水準を維持している。これらのことから、雇用者数は月次での変動が大きいながらも四半期では2006年前半も前期比+0.3%~+0.5%のトレンドを維持すると予想される。

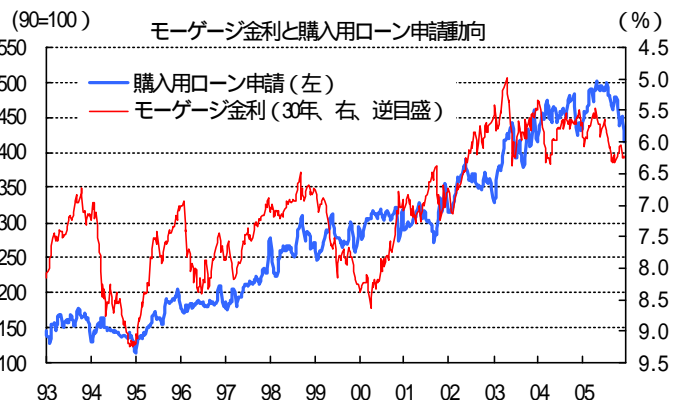
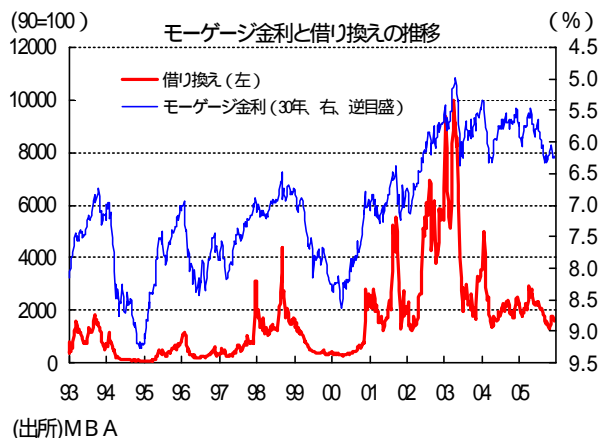
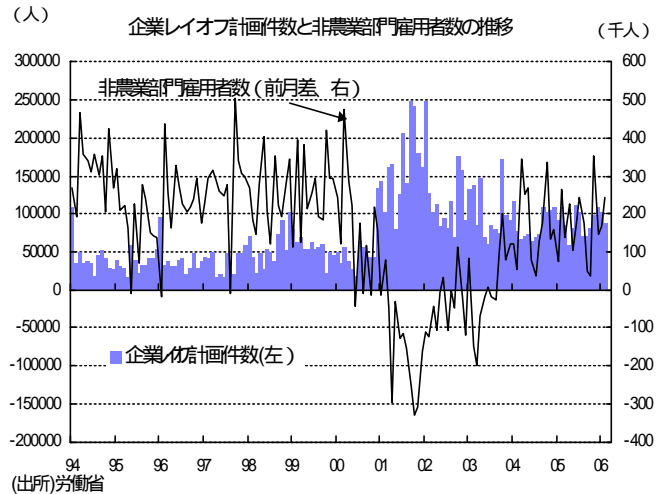
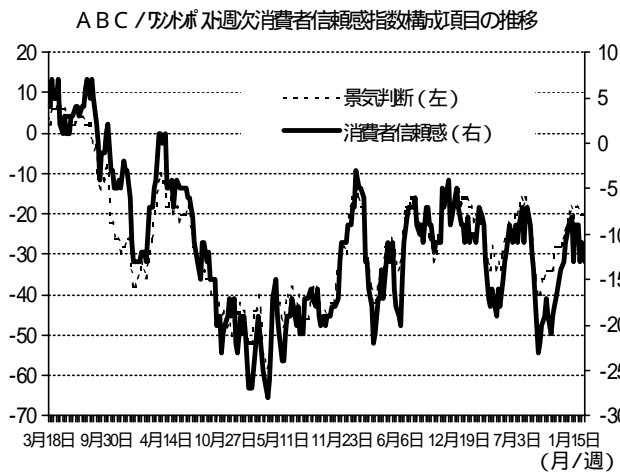
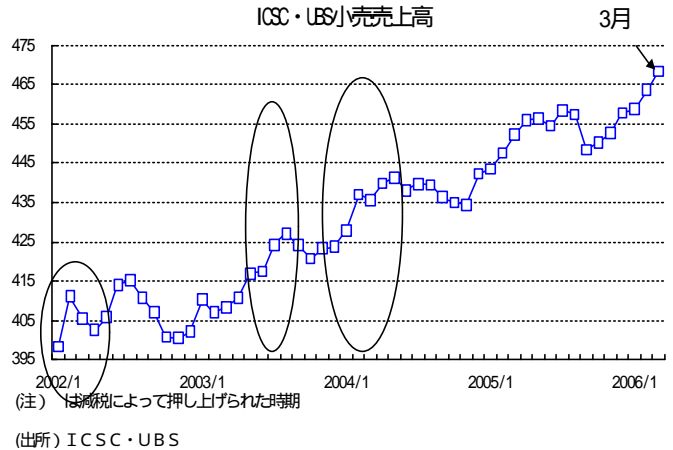
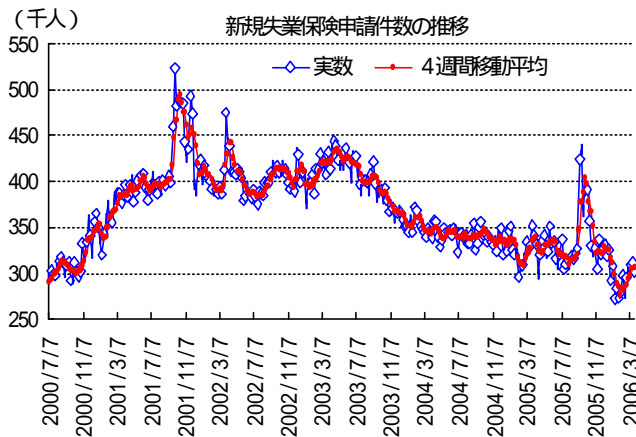
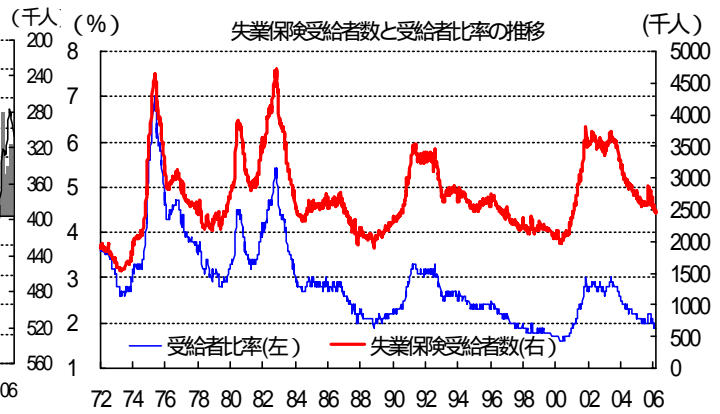
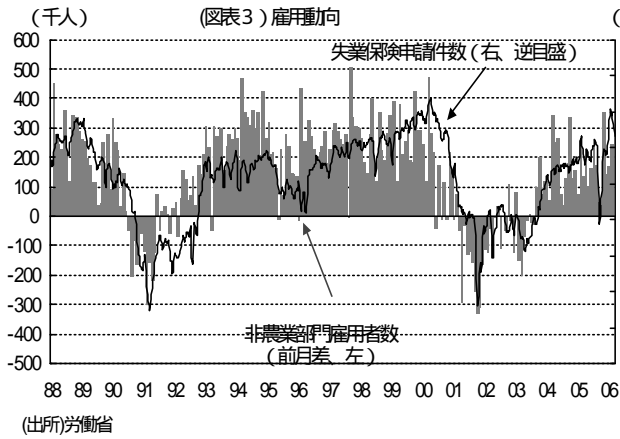
新規雇用計画の推移



中小企業雇用計画の推移



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。